

作業補足シート

3 : 3 3

分野	端末処理	作業名	SC コネクタの組み立て
目的	現場組み立て用 SC コネクタの組み立てを行う。		
工程	ポイント		時間 (再生位置)
1. コネクタの準備	・ SC コネクタ本体を挿入治具の上からセットする。		0 : 2 1
2. ブーツの挿入	・ アルコールをつけたキムワイプで心線に付着した埃やゴミを清掃する。 ・ ブーツの後ろ側から心線を挿入し、引き出す。		0 : 5 4
3. 心線の被覆除去	・ ストリップを用いて、先端から約 30mm 程度の位置で被覆を除去する。 ・ 被覆を除去するとき、ファイバを指の腹でしっかりと抑え、工具を持つ手を水平に引くとファイバが断線しにくくなる。 ・ 使用後は、毎回必ずストリップを清掃する。		1 : 2 2
4. 心線の清掃	・ 被覆を除去後、心線をアルコールで清掃する。 ・ ファイバに清掃のムラができないよう、ファイバを持つ手を返しながら清掃する。		1 : 4 1
5. ファイバのカット	・ ファイバをホルダにセットし、ファイバカッターでセットする。 ・ ホルダにセットする際は、除去した被覆端部とホルダ先端部の位置を合わせてセットする。 ・ ホルダがしっかりとファイバカッターの台座部に突き当たるようにセットする。		2 : 0 6
6. ファイバ挿入	・ 以降の作業においては、ファイバの先端をコネクタ本体に挿入するまで接触させないように注意する。 ・ コネクタ本体後ろから、ゆっくりとファイバを挿入する。		2 : 3 4
7. くさびの除去	・ ファイバをコネクタ本体の奥まで差し込んだ時にたわみが出ている状態を確認する。 ・ ファイバがたわんでいる状態のまま、クサビを取り外す。 ・ クサビを外す際は、クサビ上面突起部を上から押して取り外す。 ・ クサビを完全に取り外すまで、ファイバのたわみを維持する。		2 : 5 3
8. ブーツ挿入	・ コネクタ本体を挿入治具から外してブーツを取り付けたら完成。 ・ コネクタ本体にブーツを取り付ける際は、本体とブーツがし		3 : 1 3

	っかりとまっすぐになるように押し込みます。	
使用器具	挿入治具、ファイバカッタ（古河電工 S326）、ストリッパ（古河電工 S-210）	
使用材料	SC コネクタ（成和技研 ESC-SM-250-F-TB（芯線把持型）：コネクタ本体、ブーツ）	
最終更新日	2022/03/07	